

科目名	憲法（人権） Constitutional Law: Human Rights and Constitutional Rights						
科目担当者	今枝 昌浩 IMAEDA Masahiro						
単位数	4	配当年次	1 年	授業形態	講義	開講学期	通年
履修学部・学科 [区分]	法学部・法律学科 [専門教育科目 基礎専門科目]					ディプロマポリシーとの関連	(1)(4)
授業の概要	皆さんも「人権」という言葉は知っているでしょう。それでは、人権を「憲法」によって保障するとは、一体何を意味するのでしょうか。この授業では、日本国憲法が「基本的人権」として規定している権利はどのように保障されているのか、実際の事件（裁判例）を検討・検証することで具体的に明らかにしながら、憲法が人権を保障することの意味を理解していきます。						
授業の到達目標	①人権を憲法によって保障することの意味を説明できる。 ②その上で、基本的人権が問題となる典型的な場面（事例）において、何がどのように憲法上の問題となっているのか、具体的に指摘できる。						
授業計画・内容	1	イントロダクション：憲法と立憲主義	16	ガイダンス：前期授業の確認・接続			
	2	人権総論（1）人権と憲法上の権利	17	職業の自由			
	3	人権総論（2）基本的人権の享有主体	18	財産権			
	4	人権総論（3）基本的人権の私人間効力	19	生存権			
	5	人権総論（4）公共の福祉	20	教育を受ける権利			
	6	人身の自由：法定手続の保障	21	労働基本権			
	7	思想・良心の自由	22	法の下での平等			
	8	信教の自由	23	選挙権			
	9	政教分離原則	24	婚姻の自由			
	10	表現の自由（1）その歴史と意義	25	憲法 13 条に基づく諸権利（1）幸福追求権			
	11	表現の自由（2）知る自由・権利としての展開	26	憲法 13 条に基づく諸権利（2）プライバシー			
	12	表現の自由（3）報道機関の自由としての展開	27	憲法 13 条に基づく諸権利（3）名誉権・自己決定権			
	13	表現の自由（4）その限界と制約の態様	28	裁判を受ける権利			
	14	集会・結社の自由	29	国家賠償請求権			
	15	学問の自由	30	総括			
授業外学修 (事前学修)	事前にアップロードする資料（レジュメ）および教科書の該当頁に目を通しておくこと（毎週 2 時間程度）。						
授業外学修 (事後学修)	授業内で行った、あるいはレジュメに記載されている、問い掛けに対して自身の言葉（文章）で答えられるようにしておくこと（毎週 2 時間程度）。						
成績評価方法・ 評価比率・到達 目標との対応	成績評価方法				評価比率	到達目標との対応	
	授業内での「小テスト」および授業参加姿勢 定期試験				20% 80%	①② ①②	
成績評価基準	秀：（評点 90 点以上）到達目標を極めて高い水準で達成している場合 優：（評点 80 点～89 点）到達目標を高い水準で達成している場合 良：（評点 70 点～79 点）到達目標を一定の水準で達成している場合 可：（評点 60 点～69 点）到達目標を最低限の水準で達成している場合 不可：（評点 60 点未満）到達目標に達していない場合						
教科書	渋谷秀樹・赤坂正浩『憲法 1 人権』第 8 版（有斐閣・2022 年）						
参考文献	芦部信喜（高橋和之 補訂）『憲法 第八版』（岩波書店・2023 年）						
その他	この授業は、指定教科書を前提としたレジュメ配布による講義を行います。また、理解状況を確認するため、折に触れて問い掛けをしたり、「小テスト」を実施します。なお、授業内での問い掛けに対する挙手による応答・発言（授業参加姿勢）は積極的に評価します。						